

CU 三多摩 ニュース

No120 2025 年 9 月 1 日

コミュニティユニオン東京三多摩地域本部

〒185-0034 国分寺市光町 1-40-12 北多摩西教育会館内

☎・FAX 042-571-1166/090-2247-1166

Email:cu3tama@abeam.ocn.ne.jp

HP <https://cu3tama.org>

CU三多摩第 11 回定期大会



創立10周年を祝うつどいを開催



8月3日、CU三多摩地域本部は第11回定期大会を北多摩西教育会館で開催しました。また、同日午後、組合創立10周年のつどいを開催。延べ100人が参加しました。

大会冒頭佐藤義見副委員長（本部執行委員長）は「本部大会を1900人の現勢で成功させた。

三多摩地本は10年で10倍に仲間を増やし、労働相談でもこの間多くの成果を上げて、その力で320人の組合員となり、今日を迎えている。

しかし、多摩地域には400万人が住んでいる。320人では少ない。500人を目指し、CU東京の3000名を目指す運動の一翼を担ってほしい。」と挨拶しました。



10年で 29 人から 320 人へ

大江拓実書記長が大会議案を提案。主な報告提案は以下の通りです。

大江書記長は冒頭、発足時29名から2～3年で150名へ、そして今320人の組合へと成長してきた。



私たちがめぐる情勢は物価高騰、賃金の低迷、主食のコメ不足、軍拡と国民の暮らしも安全も脅かす政治が続いていると述べました。

2024年度の三多摩地本の取り組みは毎月の四役事務局会議を中心に労働相談に取り組み、機関紙発行、組織拡大に取り組むなど精力的に進めてきたと報告。

今期の労働相談の特徴として、解雇・雇止め・退職勧奨5件、未払い残業代8件、労働条件9件、パワハラ8件、生活相談2件、その他2件であ

り、団体交渉で解決した事案が13件、助言で解決10件、他組織なども紹介した事案や現在継続中の案件も3件あると報告。

特筆すべき事件として、障害者枠で雇った労働者をその障害を理由にして雇止めにした『朝日生命の障がい者雇止め事件』についても言及。労働審判に持ち込み、勝利的和解で解決したこと、障碍を持って働く仲間からの相談も増えており、障がい者の働く権利を守るための取り組みが今後も求められていると提起しました。

この他最低賃金以下で働かされていた警備の職場や妊娠を報告したら本人の希望も聞かず待機させられた事案、業務請負契約を盾に労災申請への協力を拒否されたが労基署は労働者性を認め労災認定された事案等具体的な事例を紹介しました。

2025年度の課題と方針

個人加盟労組の役割として、①困難を抱えた労働者を支援すること②地域で信頼される組織となること③労働組合OBや支援者を結集し、労働者の団結と地域の労働運動の推進力となること④公契約適正化運動や雇用・仕事確保運動や最低賃金引き上げや雇用の安定などの運動に取り組むことを提起しました。

また、地域に軸足を置き、CU 東京3000、三多摩地本500の組織を目指し、当面次期大会までに350人の組織をつくる方針を提起しました。

支部役員を選出

大会は、執行委員長：宮田清志、副委員長：尼崎学、小野塚洋行、佐藤義見、福田かづこ、星憲彦、三宅一也、書記長：大江拓実、書記次長：北村博昭、木口栄、中山倫子、宮本一の四役と執行委員を選出（全員再任）し、閉会しました。

大会トピックス
十年にして初めて組合旗ができました。労働者の団結と闘いの旗です。



CU三多摩10周年のつどい

大会に引き続き、CU三多摩地域本部10周年を祝うつどいが行われました。CU 東京本部の書記長はじめ、多摩地域の労働団体、組合執行委員、相談者や組合員など70人が参加し、10周年を祝いました。

会場では来賓挨拶はじめ、参加者がほぼ全員紹介され、多くの方々からお祝いと連帯の挨拶を頂きました。

参加者の挨拶及び発言より

CU東京白滝書記長

三多摩地本が10年で大きくなってきた。今後多摩地域に、西武線延線や中央線沿線など支部を作り、さらに大きくなってほしいと期待を表明しました。



東京土建砂川常任中央執行委員



建設労働者の処遇改善などを求めた担い手三法の改正を求め署名にご協力頂き、昨年度採択されました。けんせつアスベスト問題も民間被告企業との勝利的和解が成立。職業病で労働者が死ぬことの無いよう引き続き、取り組んでいきたい。

菅原三多摩労連副議長

10年前、教職員組合でも上司や同僚との関係での相談が多くなっていた。

CUの方々が何とかしたいと三多摩労連の扉をたたいたが門前払いをした。



しかし、私は大家としてCU三多摩の活動を見て来たが、CUは誰でも相談を受け、スピーディーに解決している。20周年を目指して頑張りたい。

八王子合同法律事務所尾林・三宅弁護士

毎月の事務局会議に弁護士派遣して法律的なアドバイスを行ってきた。昨年の朝日生命事件は他の地域の障がい者の労働環境改善にも役立っていると自負している。八法からは三宅弁護士も参加。CUの事務局会議に参加し、労働問題で大変勉強になっているとの発言も。



三多摩法律事務所吉田弁護士

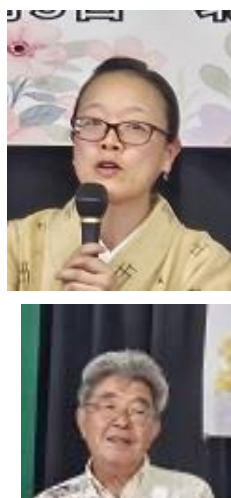


労働問題は塵肺訴訟で初めて取り組んだ。最近アマゾンの工場ではけがをした労働者の労災問題で闘う。今後、一緒に取り組みたい。

埼玉ユニオン若月委員長・中山書記長

埼玉ユニオンは260人ぐらいの組織。毎日相談は来る。北から南へと団交もしている。

組織、支部が増えつつある。タクシー会社に三人で組合作った。掲示板も作った。模擬団交に取り組む面白かったとの声も。去年の11月東京で地域交流があったが、他の組合とつながって、互いに後継者問題も交流したい。



清水とし子都議会議員

定数2で、自民党を落として当選を勝ち取った。物の値段が上がり生活が大変。最低賃金の引き上げを都知事に要求した。人間らしい暮らしに必要なのは時給2000円。だが、中小業者からは自腹を切れというのかの声もある。東京都の賃金引き上げ補助の実現に取り組みたい。



宮本徹前衆議院議員



CUの駆け込み寺的労働相談に頭が下がる。しかし、政治でしか解決できないものもある。三か月、半年で雇う事は当たり前ではない。財界は労働時間の規制無くせと言っている。許せない。総選挙があるかもしれない。国政で伸びて、解決する力になりたい。

CU江戸川支部新木書記長・飛鳥副委員長

江戸川でも、障がい者の相談が増え、三多摩に学んで団体交渉を進めてきた。都の関係する職場で、有給休暇が無いとの訴えに交渉して、17日の有給が示され、無期転換からさらに正規職員になった。今後も地域の労働者のために取り組みを進める。



武蔵野三鷹地区労服部書記長

年に数件相談が入ってくる。教職員組合の先生方は疲弊し。親も子も先生士も困っている。本当に大変な状況だ。力を合わせたい。



西多摩労連春山事務局長

生産現場が減っていく。東芝一社が無くなると下請け100社が影響を受ける。介護、保育の現場も厳しく、組織が存続できるかという危惧もある。組合を何とかしたい。



立川労連鈴木議長

1999年に組合を立ち上げた。苦しい活動だっ

た。二年がんばれと言われ今日に至っている。若者の意識も変わり、組合面倒くさい、怖い、大手の企業では自分の所に組合があるか否かさえ分かっていない。皆で力を合わせる事知らない。懇親会でバーベキューなど楽しいことにも取り組んでいる。



という声も。しかし、働きすぎて死ぬ人がいる。労働組合として、どう取り組むかが課題」などの発言も寄せられました。お名前だけ紹介します。日野支部西村常任執行委員、小金井国分寺支部鯉渕副委員長、八王子支部久保書記長、村山大和支部荒畑副委員長、清瀬・久留米支部小田澤委員長の各氏でした。

東京土建多摩地域各支部からも激励

東京土建の方々からも「今、若い人は何時間でも働きたいという。労働時間はいくらでもいいと。民主主義は面倒くさい。誰かが決めればいい

御礼 定期大会、10周年を祝うつどいにご参加いただいた皆さん。本当にありがとうございました。次の10年に向かって頑張ります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

CU三多摩地本役員一同

アトラクションは みたがカッコウと東北人デュオ、劇団前進座の演舞

集いではコーラスグループ・三鷹カッコウと東北人デュオのコラボでミニコンサートが行われ、『流れる水と岩の歌』『さびしいカシの木』『人間の歌』『みんなの歌』が披露されました。最後の五曲目「折り鶴」をみんなで歌いました。

また、劇団前進座の俳優、渡会元之さん、玉浦有之祐さんが能の舞『橋弁慶』を舞ってくれました。圧巻の演舞でした。



住所及び電話番号の変更届のお願い

郵便物が「あて先不明」で返送されてきます。

住所や電話番号、アドレスなどの変更の予定や転居の際は、お手数ですが事務局までご連絡下さい。住所は郵便番号の他、部屋番号も記載してください。



メールアドレス登録のお願い

組合員の皆さん 昨年10月から郵便料金が一気に上がり、ニュースの発送代が1.3倍になりました。そこで、メール配信への切り替えをお願いします。メールアドレスの登録をよろしくお願いいたします。組合アドレスは上記に。

インターネット環境がない方には郵送しますのでご安心ください。

組合事務局